



放送作家 5 情報

社団法人 日本放送作家協会 / 広報委員会レポート '84.1.

尾中 洋一
テレビドラマを考え直す

ニュー・メディア時代に対応できるドラマのあり方を考える年にしたいと思っています。単に、方法論、技術論ではなく、根幹からテレビドラマを考え直すつもり。旧態依然のドラマづくりは、既に視聴者から見放されています。野垂れ死するまで、あり方考え直さないのでは、あまりにみじめすぎますので——。

熊谷 昭吾
時には柵外に飛び出して

福祉「見直し」と言えば、福祉予算を削減することだそう。権力による、こういう言葉の無茶苦茶な破壊が進行する状況のもとで作家はどう対処すべきか。日常的に、小まめに、しつこく異議申立て作業をつづけるほかはあるま

ニューメディア時代のドラマは言葉の破壊進む中で「劇は大変か?」 / コメディに愛の手を

阿木 翁助
たしかにドラマは大変だ

い。マス・メディアの内側にあっては極めて至難、時には柵外に飛び出してたかうべきだ。

作秋「秋の園遊会」にお招きを受けた。待従が「劇作家の阿木翁助です」と紹介されると、陛下は「あッそう……劇は大変か」と仰せられた。突嗟返答に困り「どう御説明して良いか判りませんが……大変だと思えます……」とお答えした。そのあわてぶりを御覧になって「エヘ……」と陛下は笑われた。

しかし、今から考えると、たしかにドラマは大変だ。

放送を面白くするために

新企画 《400字提言》……………12

●プロデューサー、ディレクター、編集者から

メッセージ **あんでな**……………8

'84新春

放送作家はいま…

近況特集

書いてみる
考えまいる
生かまいる



日本放送作家協会会員(順不同)

週刊 YOUNG JUMP

第10回青年漫画大賞原作部門
3月31日締切

明日の漫画原作界を、お任せします

漫画界に斬り込め!

原作・野田万寿夫
●第7回青年漫画大賞入選
キリンのいる風景 画・佐藤智一

原作・原田竜平 & 秋山隆平
●第8回青年漫画大賞入選
アンドロイド
伊之助画・谷村ひとし

朝が来た
……
親父は死んでいた

俺以外
生き残った
人間は誰もいなかった

★青年漫画大賞原作部門大募集★

〈応募要項〉

- 400字詰め原稿用紙40枚から50枚まで。ほかに、400字詰め原稿用紙2枚に、あらすじをまとめた梗概をつけること。特にジャンルは問いません。
- 別紙に、住所・氏名・年齢・職業・電話番号・略歴を明記のこと。

■締切/昭和59年3月31日。昭和59年9月30日。(年2回、募集しております)

■あて先/〒101 東京都千代田区一ツ橋2-5-10 集英社 週刊ヤングジャンプ編集部 青年漫画大賞 原作部門係

週刊 **ヤングジャンプ**

●毎週木曜日発売
●定価180円・集英社

社団法人 日本放送作家協会 広報委員会レポート 事務局 一〇六 東京都港区六本木六二二五ハラビル 電話(〇三)四〇一一五九九六、四〇一一六二九五 定価三五〇円

大西 信行

新橋演舞場で「宝暦相聞歌」

四月新橋演舞場で上演される戯曲をいま書いています。「宝暦相聞歌(えどのこいうた)」という題のお富三郎の芝居です。三田佳子と尾上菊五郎。赤間源左門は小沢栄太郎、みる杭の松は尾藤イサオ。河内桃子や春風亭小朝も出ます。神田松鯉の講釈を連続で聴いて、いつか舞台にのせようという長いことあためた材料です。全国各地で――

藤川 桂介

「読解」より「感解」の時代に

今年スタートするテレビ番組の脚本と、角川書店から出版される小説、「異次元童話」シリーズを執筆中です。いずれも若い視聴者や読者に、どのくらいアピール出来るか。今は「読解」する時代ではなく、「感解」する時代。どう斬りこんでいくか、なかなか難問です。さてどんな結果が出るか、楽しみでもあります。

山田 正弘

下町を舞台に探偵物語を

家族のうち二人が各々病院を異にしてICUのお世話になるという事件あり。身辺風雲急。仕事

も看病その他で二、三延期。人間生きていくと色々あるもの

です。漸く仕事再開。八四年は、これまで書いてきた詩を一冊にまとめたい。脚本は、東京下町を舞台にした探偵物語を準備中。

永 六輔

オール読物「政五郎回想録」

84年はオール読物「政五郎回想録」で遊びます。あとは例によって投げ銭集金を

北原 優

放送作家は今年も休業。毎日書くことが癖になり

TBS連続テレビ小説「おゆう」の後、毎日書くことが癖になり、少しくんがいます。「おゆう」以後、TBSの二時間半、よみうりテレビ木曜ゴールデンドラマ、テレビ朝日月曜ワイド各二時間のほか、TBSの日曜劇場二本を書きました。が、エネルギー、余っています。

山崎 博史

コメディ番組に愛の手を

笑いギャグとコメディの好きなプロデューサーに告ぐ。企画などイロイロあり、試みて下さい。更に、'84は「コメディアン笑いの伝説」なる著書を出版したたく目下、資料集めに懸命の毎日です。お笑いに市民権を。コメディ番組に愛の手を。以上、この二つのテーマを本年度の大きな目標に思っている次第。

あがた夢童

立体絵本から人形の童話

屋根の上に一冊の大きな(三米×二・五米)絵本?を乗せたマイクロスコープが子供達の待つ公園の広場に止る。ページを開くと立体絵本、その中よりバベット・ギニール・等身大ぬいぐるみ人形達の童話の世界がページをめくりながら進行、やがて絵本がとじ次の広場へ……。同じ大阪の空気を吸っている誰で村上泰明先輩にも参加して頂き「オモロイ」ものになりそうです。

宮田 達男

これらが面白くなります

民放ラジオ発足時のディレクターとして業界に入ってから、この

馬場 雅夫

演芸番組の構成やりたし

正月で三十二年と三ヶ月棲息させていただいています。でも、まだ五十五才二月。高齢化時代でなくても鼻たれ小僧。これからは再び連続ドラマを書く予定もございませぬ。その時、企画と製作も続けるかその辺は未定です。落語のカセットテープの解説、対談、それにVTRの構成演出の仕事も月に三本。新聞雑誌に評論随筆を週四本。講演、漫談を週二回。パーティ司会を週一回。大体そんなところですが、放送作家のはしくれとしては、TVラジオの演芸番組の構成をやりたいと思います。結構これでいい腕を持っているのに……世間に目がないのか!

津路 嘉郎

松竹蒲田・大船時代を書く

師匠であった池田忠雄を軸にして、松竹蒲田から大船末期に至るまでの脚本のあり方や私の経験してきた姿を書き残しておくべく「コシヨ」書きつづけています。昨年一杯です。小冊子として三冊出しました。本年も四、五号とつづけて行きたいと思っています。

隆 巴

演出・脚本・おかみさん業

十一月いっぱい山本圭主演「ムレット」の東京公演、舞台を毎回みるという演出家なので稽古を入れると百数十回。忙しいのは仕方がないです。時代劇スペシャル一本書いて、十二月は来年の芝居の準備と、映画のシナリオの手直しと、新年五日からの無名塾の試験の準備。塾のレッスンは春の二十七日迄、おかみさん業は三十一日迄開業中。

川崎 洋

ラジオドラマ「家族」書く

1.中央公論社刊「現代の詩人・全12巻」の第8巻「川崎 洋」が出ました。(昨年11月)
2.朝日ゼミナール・日本語シンポジウム「日本語の十字路」にシンポジストとして出席しました。(昨年11月)
3.NHKラジオ・2月11日放送の90分ドラマ「家族」(脚色)の原稿を書いています。

吉田 文五

新しい視点で「日本の琴」

昨年は半年間入院。組合から見舞をいただいた。改めて組織の一員である心強さを感じた。そこでPR。今春、著ならびに編の「日本の琴」が上梓されます。日本の琴の歴史を、私なりにまとめたものです。五百八十枚。新しい視点も導入しております。ただし非売品です。残念でした。

可能か双方向ドラマ／原稿用紙食べる夢

大川 タケシ

マンネリを破って奮起

時代劇と刑事ドラマを執筆中。構想マンネリのため、改めて黒沢明氏の「野良犬」、伊藤大輔氏の「忠治旅日記」、伊丹万作氏の「花火」を読み返す。ギリギリした新鮮なタッチにまたまた感激。ふんどしを締め直し、初心に返り奮起する覚悟……。

辻 真先

追われずにマイペース

八三年後半いろいろありまして、活字の仕事がたまりました。取材もたまりました。

池田 博

双方向ドラマの可能性は

去る十月にニューメディア関係のシンポジウムのコーディネーターを勤めたが、ハード先行のニューテクノロジー界には、ソフトの創造力が必要です。日本の紀要に「コンピュータソフトのための映像構成論」という論文を書

赤星 哲

原稿用紙を食べる夢を

こころ7年美術番組製作でいろいろな画家とお会いしますが、先日は文化勲章受章者牛島憲之先生をアトリエにお訪ねしました。その折「苦しんで苦しんで絵具をムンヤムしゃべる夢を見るんですけど色によって味が違うんですよ」というお言葉を聞いて愕然、そして悄然。御同輩、今年はせいぜい原稿用紙を食べる夢を見ましょう。(〇四六七四三三〇二二七)

関根文之助

四月に「用字用語表現辞典」

「用字用語表現辞典」(仮題)を目下校正中です。四月ごろには、刊行の運びとなりましょう。「一日一言」(仮題)の原稿が、ほぼまとまりました。これは、その日その日の生活に合わせて、ことごとく、エピソードと、三六六日にあてはめてみたもので、「生きる」ための指針となるように、心がけて、執筆しました。

村山 庄三

子供向け「西遊記」執筆中

今年八月「あすなる書房」より出版予定の子供向け「西遊記」(全十巻)を執筆中。只今、一、二巻を脱稿し、四巻目を執筆中。

山路 洋平

二月に花登追悼公演を

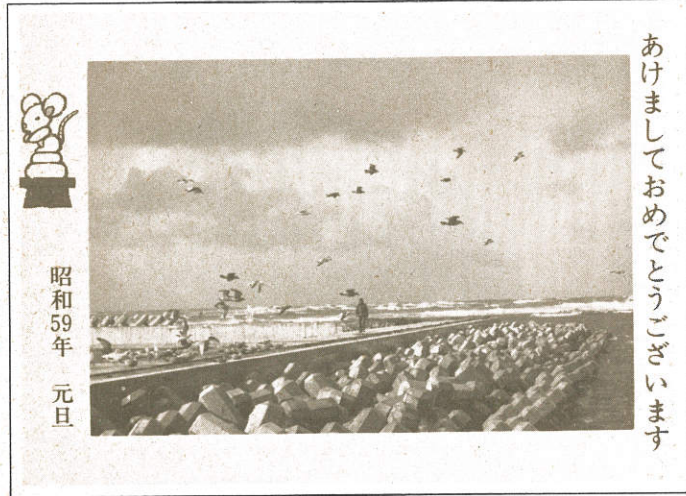
昨年五月にスタートした朝日テレビのカルチャー番組「エキスタ女学院」(月一金曜前11・0)の構成を手懸けて約九カ月。番組もどうやら軌道に乗ったようです。二月四日初日の三越劇場「花登追悼公演」の八番頭はんと丁稚どんの脚本を担当しています。兄事していた花登氏に、黄泉の国からどんなダメを出されますか。

竹村 潔

人情劇「京女死への旅路」

昨年の集大成は何と言っても師走の舞台であった。民話仕立ての人情劇「京女死への旅路、小屋守り」と言う大変ユニークな芝居を書き上げた訳だが、想いも寄らぬ奇妙な雰囲気醸し出して客は無論の事、ボク自身も筆舌に尽し難い感動を覚えたものである。ひょっとすると、これからのボクの方角づけになるのかも知れないと思ったりもした。

それにもう一つ、「バテマ」という医療関係の雑誌に「想いグセと心の病氣——精神病を通して学んだこと——」というテーマで原稿を書かせていただきました。



あけましておめでとーございませう

近藤 洋

「道民芸術祭」見てまわる

この秋から暮れは、道文化団体の依頼で全道各地の「道民芸術祭」

の視察と記録に駆けずり廻り、掲載のような賀状を、数種ものしました。(北の果てノジャップ岬で撮影)

竹内 日出男

NHK「早起鳥」幕引き
新年はNHKラジオ「早起鳥」の連続ドラマ取材から。三月いっぱいこのドラマ枠は廃止と決まり、いわば幕引きシリーズを引き受けたわけ。よく聴かれていた番組なのに、担当者は無念そう。「これを語りて平地人を戦慄せしめよ」(柳田国男「遠野物語序文」より)——R・TVとも、今年もそんなつもりで。よろしく。

吉田 剛

ワイド三本続けて書いて
9月から11月にかけて、月曜日と土曜ワイド2本、即ち2時間ドラマを3本続けて書いた時はさすがにバテました。いつもは必殺シリーズの1時間物数本が隔月に挟まるので、スタミナ的にはパランスが取れるのですが。いいえ1時間が軽いと云う意味でなく、気が変るのですね。
年末年初はそちらが続きます。

榛谷 泰明

現場でシーン組み立て
ほとんど文字を書きこんでいない、白紙に近い台本を手、ロケ現場に臨み、その場のなりゆきでシーンを組み立てていく、という

トには泣かされます。これほど母性愛をうしなつた時代が、今まであったでしょうか?「女」「女」「女」そして享楽……主人を「あんなもの」とよび、子供を「あんな」と呼ぶ。いつ子供と結婚したのでしようか?

津川 泉

真山青果に魅せられて
今まで名前だけでしか知らなかった真山青果の作品に触れて、その魅力にとりつかれました。ダイナミックなセリフ運び、壮大な構想力、人物の放つ強烈な個性等々一度読んだら病みつきなのです。つぎからつぎへと読まざるにいらなくなつて、ついに全集まで買ってしまいました。84年は真山青果に明け暮れしそうな気がします。

長谷井 杏亮

「若いピアノの先生の為に」
「記紀神話考——付、銅鐸の考察」脱稿。論文風読み物、一四〇枚。「若いピアノの先生の為に」——指導の実際——我国ピアノ文化の底辺からの発言です。四〇〇枚。出版元を探しています。続いて、漸く構想の成った村上海賊の系譜を、小説にする作業に入っています。完成の後は、即TVドラマ化できるような構成の予定。

たようなテレビ番組を、このところ連続して作っています。いいかげんにやることの楽しさ。「楽志」という言葉を、ロケを共にした中野良子さんから教わったばかりです。

鈴木 進

「人間、この愛すべきものを」
著書がようやく十冊を超えました。分野は、歴史、芸能、ビジネス、信仰、風俗などに跨っています。根本的には「人間、この愛すべきものを」をテーマとしています。本をたくさん売るためには、ま

もつとラジオドラマをわが家に子ども演劇資料館／もはやランニング中毒

田井 洋子

もっとラジオドラマを
ラジオドラマの公募作品の審査をしましたが、今年は大変活気があり希望が湧きました。ラジオ志向の作家も沢山いるのですから各局とももっとドラマの時間をふやして面白い連続ものなどで勝負してみた如何。

井沢 満

ロタの陽灼けあせるまで:
☆サイパン・ロタ島で一泳ぎ。陽灼けがあせるまでゲンコ書きたくな。ささやかな「東京子ども演劇資料館」をひらきました。「子ども演劇」に関する資料を、蒐集保存するための小施設です。

小池 タミ子

わが家に子ども演劇資料館
昨秋、「お伽芝居」学校芝居」八十年を記念して、わが家の一隅に、ささやかな「東京子ども演劇資料館」をひらきました。「子ども演劇」に関する資料を、蒐集保存するための小施設です。

ザテレビで顔を売ることが先決、と思うのですが、どうやらそちらの方がむずかしそうです。

沢田 賢二

連載「非行の根をさぐる」
カセットテープによる盲人用の旅行案内(居ながら旅行気分になる音の旅)が三十本溜ったので他に転用できないかと思案中。同人誌に書いてきた短編恋愛小説が十本溜ったので、単行本にならないかと思案中。地方の小新聞に教育問題「非行の根をさぐる」を連載中なので、

材料を追い理念を思案中。
官本 京二
沈黙のコミュニケーション
情報過多の昨今、無性に沈黙のコミュニケーションという吾が国特有の伝統に魅力を感じる。先日群馬県鬼石町三波川(サンバガワ)に楚々と咲く冬桜をTVの取材で訪ねての雑俳。

北村 篤子
毎朝、外苑を走っています
毎朝、飽きもせず、外苑を走っています。少々の降りなら雨でもとび出すんだから、もはや完全なランニング中毒。これで瘦せないのは、なぜでしょうか。
仕事の方は今現在、NHKの銀河、五月放送分を執筆中。それにしても昨今のTV業界、単発ギャラの私には住みにくいことです。

安倍 徹郎

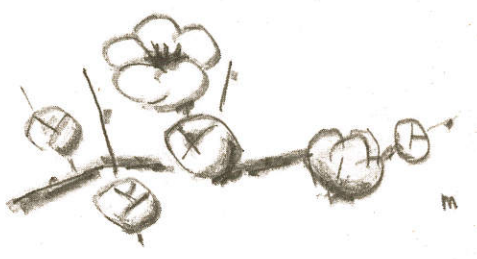
情性に流されない仕事を
谷川浩司名人の棋譜を並べてみたところ、今まで歯の立たなかった某プロデューサーに、突如三連勝するという奇蹟を演じ、狂喜しています。二時間もの予定表を眺めては、溜め息をついています。が、新し一年の覚悟をもって、情性に流されない仕事を続けたいと念願しています。

木内 哲子

作家柏原兵三の人物論を
今、夭折した芥川賞作家柏原兵三の人物論三十枚を書いています。郷土の富山に文学碑が出来るからです。職業のスピッチセラピス

鳥海 尽三

アニメなど今年が多忙
来年度のアニメ・テレビシリーズ三本の準備中(放映決定)。スベシャル・アニメ(長編・一時間物、五本)を書き終った途端に製作ストップ。原稿料は頂きました。更に暮れから、テレビ・スペシャル(一時間四十分)にとりかかりました。その他に、小説(ファンタジー)の構想執筆中(出版決定)。今年が多忙を覚悟。



田中 のぶ

大正のバリ社交界の花を
映画「南極物語」を目的不自由な方々に観ていただくための台本作りは大変な作業でしたが、観て下さった方々がとても喜んで下さつて、やりがいのある仕事でした。大正のころ、バリ社交界の花とわられた前田洋子侯爵夫人の生涯をドラマ化、あるいはドキュメンタリー化できればと、目下、資料集めをしております。

田島 義雄

四月の朗読発表に向けて
■西荻窪の八ちっけ劇場に毎土曜日集り勉強してきた「ゆっくりしゃべろう日本語の会」の朗読発表を12月に行い、童話/物語/詩劇と、初めてにしては全員なかなかのできばえ。次回四月の発表に向け更に練習を重ねています。■八ちっけ劇場公演は、人形劇のほか三月には「マジック」さ

神津 友好

珍芸奇芸の「芸名人集」
寄席でも劇場でもめったに見ることのできぬマイナーな芸、いわゆる珍芸奇芸をさがしつづけてライプを見まわっています。花王名人劇場の「芸名人集」としていまPART4の制作にかかっているが、すでに百組。御存じよりの芸あれば乞御一報教えて下さい。修業三年、このたび揚家太極拳中伝(二段)免許を得ました。

滝口 節夫

プラネタリウム構成の魅力
プラネタリウムの台本構成を、おっかなびっくりで始めて以来、十四本仕上げました。今や完全にのめりこんでしまったようです。プラネタリウムは、タイムマシンです。五千年前でも、一万二千年後でも自由自在なのです。：。TV、ラジオドラマ以上に、よりドラマチックな要素がもてるところが、すばらしい魅力です。

大石 隆一

「日本の霊能力者」II書く
一昨年出版した「日本の霊能力者」がよく読まれていて、増刷につぐ増刷。気をよくしてパートIIの取材執筆中。十月にフィリピン的心灵治療も体験取材、こちらも平行して執筆中。一月から二月にかけて「シークレット・リポート(仮題)」を始め三冊を出版予定です。

らに「小人教演劇」も準備中。

石森 史郎

戯曲『桜の国の伝説』で挑戦

別にオーバーではなく私財を投じて製作したドキュメント映画『光と風のきずな』が五三年度文化庁芸術祭優秀賞を受けてひとつのけじめがつけたい思い。毛利先生には大変なお力添え感謝しています。『必殺シリーズ』二時間ドラマ今年もテレビが多いと思いますが四月には手織座で『桜の国の伝説』オリジナル戯曲。芝居にも挑戦ノ

駒田 博之

自分のペースくずさず

。昨年の夏から引き続き、小学5

鎮魂、帆船オスプレイ号／青い目の落語家

貞永 方久

映画『海嶺』完成しました

三浦綾子原作の映画『海嶺』が出来ました。これは非武装の米商船を無警告で砲撃へベリ来Vの原因となったモリソン号事件の裏にかくされていた日本漂流民の実話です。モリソン号に擬して使った美しい帆船オスプレイ号が、映画の完成直後台風で沈没し八人の方が亡くなり、これは鎮魂の映画となりました。観て載きたいと思えます。

小島 貞二

『青い目の落語家』快楽亭

たまにはテレビ・ラジオの仕事をしてみたいと思うが、お呼びがかかるのは、おしゃべりのほうばかり。たまには新聞・週刊誌とかが、お呼びがかかるのは、もっぱら単行本。昨年までで八十五冊。いま書いているのは、明治・大正に活躍した『青い目の落語家』快楽亭ブラックのこと。そういえばレコードの仕事もあった。

磯村 愛子

暮から『モビーの魔法の鏡』

めずらしく暮からお正月にかけての仕事をしています。学研『モビーの魔法の鏡(仮題)』。テレビ・映画の翻訳は本場に少なくて、これではいけないと思いますが、依頼がなければ仕事にならないのが辛いところです。でも、もしかすると、こんな時期こそ充電のときかと考えたりしています。

林 企太子

天保時代見直しにかかる

『以前、応募原稿を読みましたよ』最近二人の先輩から続けざまにそう言われて、こそばゆい思いをしました。火事場の纏じやないけれど、振られるほどに熱くなっている頃……いま、一年間関わっていた時代劇シリーズが終了。天保時代の見直しにかかりました。資料の行間から立上ってくる人間は、したたかで見事です。

塩川 寿一

『元祖どっきりカメラ』を

二八・九〇(五八年十月放送)という数字のおかげで、今年も、元祖どっきりカメラで半年は暮せそう。あとの半年は保証があるので気が楽だ。飲む、打つ、買うの才覚だけは別立てだが、これとて年齢相応に衰えの見える今日日は容易い御用。残る余力はボランティア。というのが、戦争放棄を条件にした、今年の僕の太平洋です。

高梨 久

若い人たちのためにやる

放送の現場に二十年(ラジオ・テレビ)いたボクだが、放送の仕事から遠ざかって久しい。だが放送はボクにとって生活の一部で、

川田 忠

舞台で在留外国人と交歓

マーチング・バンド、郷土芸能演劇などで組んだ舞台に、在留外国人約十五か国五十名の家庭を招待、観客との交歓も試みた。アジア・中近東の人が多かったが、その後、多くの招待を受け、お国の家庭料理を楽しんだ。ほとんどが各国派遣の留学生。帰国後の交際も求められ、その文化の多様さと共通点の多さに驚かされた。

白川 勲

ラジオドキュメント執筆中

前号は多忙の為、稿紙紛失という不手際あり、依って傍観傍読。猛省あるのみ。さて目下、某局の依頼により久々にラジオの執筆に四苦八苦。何しろ生まれて初めての、桁外れにエライお方のドキュメントなので、果してOKが貰えるものやら……? 同業の面目と名譽にかけて頑張りませう。何はともあれ、良いお年を、良い仕事を。

奥園 守

特要件因図でドラマ分析

。いま、なぜTQCか——この五巻セットのスライドのシナリオに取組んでいます。特要件因図でドラマの分析をして遊んでいる時間が多いこの頃です。○ 若い人に接するのも、たまにはいいもの、だよという友人のすすめで、時折、講師として学校に行っています。まだいいものを掴みきれません。

本庄 一郎

近頃の若者のだらしなさ

CM制作会社を中心とした小粒の関連会社をいくつかこころがしているが、近頃の若者のだらしのないことといったら(今更!!)いのちがけでやります……なんてセリフを軽くほざきながら、ちょっと仕事をキツイとすべて他人のせいにして逃げ出す。その自己合理化の弁のうすっぺらでセコイこと笑っちゃいますね。

紋多 一声

グループ「笑戯隊」を結成

殆んどビョーキの若者たち(16名)を集めて、「笑戯隊」というグループを結成しました。『新しい笑づくりを目指す集団』

というのがキャッチフレーズです。コント、漫談、漫才等……既製のジャンルに捉われぬユニークな笑タレントを送り出してゆこうというわけで、ただいま、超特訓中。近々、公けの場に、その成果の一端が現われるかも……です。関係御各位のご支援、ならびに御指導をお願いします。

かのう・あらた

胡旋舞の崔さん交流求む

民音主催「シルクロード音楽の旅」の日本縦断公演で一カ月間、司会をして知り合った辺べん朝鮮族の胡旋舞の名手「崔 美善」と云う若い舞踊家が本国へ帰ったのち手紙を寄越しました。文面には、日本の素晴らしさを心からたたえ、日本の若い音楽家と交流をしたいと述べています。どなたか名乗り出ませんか?

佐々木 年重

創作舞踊で日韓交流公演

①昨年、韓国創作舞踊協議会長朴究九氏より、日本舞踊作家協会との国際交流の要請を受け、韓国評論家協議会長李質烈氏及び、日本側責任者藤井公氏と協議を重ね、六月と十一月に無事両国で交互に公演が行われました。②私事ですが、女房が「ドック・マガジン」に随筆「ベコと私」を一年間、連載する事になりました。宜しく。

福井 貞則

日中の作家の交流計ろう

珍しく年頭に当って「今年が目標」を立てることにしました。一、有線テレビ放送に企画から制作まで、積極的に参加しようノ



出崎 哲

アニメ監督などで息抜けず

夏のTVスペシャル「プライムローズ」の監督(プロデューサー兼)の後、劇場アニメ「おしん」の絵コンテ・演出(部分)パイロット・フィルム「サーファー・エッジ」(仮題)の演出、劇場用「プロ野球を10倍……II」のアニメ監督。それに会社マジックパスの代表としての仕事で新年一月迄は息が抜けません。ライター本来の仕事が出来ず寂しい。

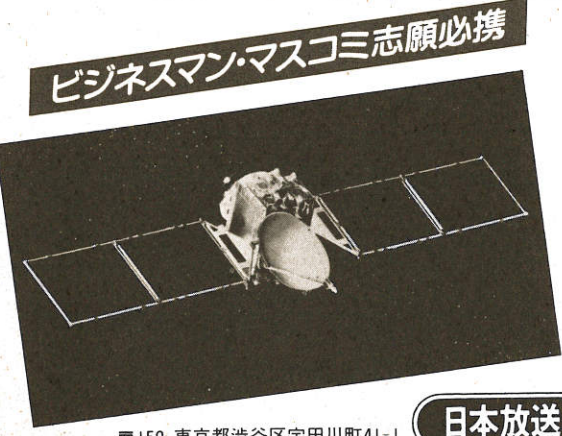
情報環境の変化に対応する初の本格的集成・全400項目。

ニューメディア用語辞典

●日本放送出版協会・編 ●定価 1,500円

ニューメディア用語の知識なくして情報化時代は理解できない。豊富な項目、斬新な編集、やさしい用語解説。メディア革命の時代に生きるビジネスマン・学生必携の書。

〈本書の特色〉 ●多彩な執筆・監修陣 ●4段階のやさしい解説などユニークな編集 ●ICでも集積回路でも引ける索引 ●携帯に便利な判型とソフトカバー



日本放送出版協会

〒150 東京都渋谷区宇田川町41-1

振替東京1-49701 ☎03-464-7311代表

五二一八三二一

三ノ四時間のミニシリーズの企画を

TBSテレビ

大山 勝美

連続ドラマは、テレビドラマの米だという認識は変わりませんが、先月じつに久しぶりに二時間ドラマ「美人草」の演出をして、長時間ドラマの面白さも再発見しました。

三ノ四時間のミニシリーズになるような、ユニークな企画をお持ちの方いらっしゃいませんか？いつも、反響があるので、この欄のしみにしています。

（第一制作局・プロデューサー）

〇三五八四三二二一

音楽が流れるような新タイプの本を

廣済堂出版

足立 貫一

〇企画募集

連載テレビ・ドラマのノベラゼーション。親しきTVタレントの本。現代の各種不安状況のドキュメントで単行本読物にできるもの。そして、例えば表紙を開けると音楽が流れるといったような新タイプの「本」にして本にあらず」といったようなニュー

ANTENNA ● あんてな ● ANTENNA ● あんてな ● ANTENNA ● あんてな ●

1タイプの企画。コンビニエンス・ストアなどを担う新企画をお待ちしております。（代表・〇三三四五三二二〇一）

編集者かたるニセ電話にご注意

映人社 万里

テレビドラマの脚本専門誌「ドラマ」も創刊六年目。皆様のご協力の賜物と感謝しております。

最近、ドラマ編集部の名を使って原稿依頼するニセ編集者が現われ、ご迷惑をおかけし困っております。特徴は若い声・経歴を聞く、テレビ界のことに詳しい、長電話…。不審な電話があった場合は、お手数ですが編集部にご連絡下さい。（「ドラマ」編集部・〇三三五八五〇九六三）

※遅れて到着の二篇、十八頁に。

寄稿歓迎します

掲載ご希望の方は協会事務局（四〇一五九九六）へどうぞお電話をください。

福田 勝路

関西弁が使えず困ります

ことばというものは大変なものだと、しみじみ思っています。大阪にいて、関西弁が書けないと八割方チャンスがないような気がします。こちらでの制作もの（ドラマ）は、ほとんど関西弁で、ニヤンスが微妙なんです。東京生まれの東京育ち、なかなか関西弁が使えず、また使うと大笑いされます。困っているこのごろです。

真木 柚子

亡き姑の見事な生涯を

割合凡帳面でマメな性格と見られたのでしよう。本誌の編集委員に加えて頂いたのに、委員会はサボってばかり。でも仕事の方はキチンと締切りを守っています。年末には出張取材や身内の不幸やらが重なって、文字通り足が地につかぬ日々を過ごしました。今年には嫁として何ひとつ尺さなかつた罪ほろぼしに、亡き姑の見事な生涯を聞き語りてまめめめと思っています。

上村 洸

テレビにかかわって一年半

ノンフィクションの活字の世界から、テレビの一隅にかかわるようになって、もうすぐ一年半になつて、もうすぐ一年半になります。この世界は、まったくムダをしない世界ですね。それだけに疲れるところがあるようです。

山形 一郎

劇画に職人の仕事ぶりを

例年のように冬眠にはいらなかったのが微熱にやまされ、原稿が三ヶ月ほど遅れています。新年早々に書くつもりだった劇画も從っておそくなります。さてその劇画ですが、いわゆる「職人」の仕事ぶりも採り入れてみたいと思つて資料を集めておられます。機械にかけたら同じものがどんどん出来るやり方にウンザリだから――

安藤 日出男

ワープロの勉強を始めた

御多聞に洩れず、ワープロの勉強をぼつぼつと始めています。なんだか流行を追うような気がして、恥かしいのですが、使っている方に聞くと「早く書いてこたえられない」とのこと。ついに重い腰を上げました。が、生来メカオンの私のこと、マスターするのは何時になりますやら。正に日暮れ

渡辺 利弥

ワープロ練習中について

ワープロ練習中で、つい、こうなっちゃいました。ハイ。

大南 勝彦

「ロシアへ渡った侍」受賞

拙著「ペテルブルグからの黒船」のTVドキュメンタリー「ロシアへ渡った侍」は民放連優秀賞を受賞。しかし担当が契約を無視して勝手に脚本を書いたり外国で仕事をすする際のマナー不足など問題多し。原作・脚本・解説出演と作家主体で作るドキュメンタリーに対する局側の態度に不満あり、自身の反省も含め此の問題整理中です

阿部 基治

二足のわらじ均衡とって

最近、二足の草鞋の内の一足の方が重くなってきて、「放送作

富士 得朗

音痴レッスンはいかが？

春、秋と最低二回は音痴会員大集合、にぎやかに演歌発表会を開催、誰でも歌えるコーチをします。公開話し方教室も定期に開いて

がんばるつきやない！

羽柴 秀彦

放送作家の存在価値は？

今更年ら、放送作家とは、一体どこに存在価値を求められているのか、分らなくて困っています。酒でも飲みながら、そんなバカな話につき合ってくれそうな仲間を只今募集中。（とりあえず、未組織労働者の会）のを作っています。

岡本 一彦

日本民謡の海外派遣実現

四月に国際交流基金の制作で、はじめて日本民謡の海外派遣が実現し、東南アジア各地を歴訪します。現地プレーヤーとのセッション、シンポジウムなど、単なるお目見得公演ではなく、民謡を通じて目に見えないものかと探索中です。目下資料の山に埋もれて演出プランを練っています。乞、御期待

檀上 文雄

憂しとやさしと思へども

年々歳々、意固地になる自分に自己嫌悪をもっている。感性は日本を愛し、理性は日本を嫌悪してゐる。世の中を憂しとやさしと思へども、飛び立ちかねつ鳥にしあらねば

門川 美代子

セッセと小物を単に運ぶ

セッセと小物を単に運び込む子の性格、この一月には還暦を迎えます。四月には祖母になる予定。文字通りのパンチンに突入。

高橋 克雄

パン・スタジオを活して

日本初ノ放送規格のパン（パーソナル）スタジオを持っています。4台のカメラやコンピュータ入力。タイトル等もインテリVTRにその場で収録出来ます。何方か一緒にこのスタジオの機能を生かして夢のある仕事をしませんか。例えば俳優の一人芝居等、放送やVP化したのです。ビジネスの面で企画の面で皆の御協力を

毛利 恒之

「初日の出生中継」で越年

「初日の出生中継」(CX系)で今年もテレビ静岡の副調で新年を迎えます。正月休みは本誌の編集の追い込みです。ドキュメンタリー・ドラマなど今年もいろいろと。

旅の楽しみ 旅の感動を120%でお応えする

阪急交通社 03-508-0125 東京都港区新橋3-3-9 阪急交通社ビル 1105

放送を面白くするために

面白くなくさせているもの改めよう

尾中洋一
放送をおもしろくなくさせている要因を、小さなものから、ひとつ、ひとつ、あらためていきたいと思います。(大きなことの改良とは別に)まず、放送の紹介— 現行の新

好きなものを力いっぱい書かせよ

大西信行

理屈は言いません。おもしろいドラマを書きたいと思えます。これはなにもぼくだけの思いではないでしょう。みんながそう思っている筈です。

だから— 提案します。放送作家みんなに、一時間でも二時間枠でも、好きなものを力いっぱい書けと言ってください。年間を通じてよかったものに賞を出す。

しのごを削って、書くでしょう。書いても気に入らなかつたら放送しないでもいい。気に入らないと言ったらまた書かせればいい。

無論作家の方でも、自分のドラマを解ってられないプロデューサーだったら、解る人とパートナー

聞、雑誌のラ・テ欄は、どこも同一規格のものばかり。仄聞するところによると、ラ・テ欄専門の外注会社から、各社に原稿が流れている由、下らないこと。夥だしい。可能なら、放送協からニュースを出稿しましょう。

そして、全て、作品というものは、作家があつて成り立ち、作家のことをわからせましょう。

を替えて、心ゆくまで書けばいい。(アタればの話ですけど、さ)

あつちこちからおなじような企画書求められるより、その方がどれほど作家の仕事としてほんとの仕事かわからない。みんな一生懸命にやると思いますが...

肥やせば照りも艶もあるホン書くよ

井沢満



「あたしが、あなたにあげられるのは富しかないわ。」— 生涯最も鮮烈なポーズを最近受けたのでした。相手は少女漫画界のスター作家。自分の作品に原書書いてくれれば大金を約束することが出来る、と。

富か名誉か。いづれかだよ。作家は概ねお調子ものだ。肥やせば、照りも艶もある身震いするよ

うなホン、書いてみせませう。脚本軽視を改めよ

石田三智雄

脚本演出で、3が演技、残る3は撮影、音楽、照明、録音その他ウラ方といわれるものを指している。如何に優れた脚本演出でも演技が拙ければブチこわしである。又その逆もある。633が一体となって合致したところに秀作が生れるものだと思う。

それに加えてインタタイムメントの要素の強弱によってその価値が決定的になるのだ。従って経済的にも酬いられるのだと思う。最近の放送、映画作品にしてもこれらの条件を満しているもの数少ないことは残念である。

制作予算を削るのにきまって最初に引き出されるのは脚本料である。脚本を蔑ろにする傾向の強いのはわが国の特質である。この「6」軽視を改めるよう制作関係に強く要望し、ささやかな提言としたい。世評に迎合するわけではな

いがおしんVが今のところ評判なのは633+インタタイムメントVの勝利だろう。お笑い番組に「笑い屋」はいらぬ



馬場雅夫
まずテレビへのお願。一、視聴者をだますごとき誇大タイトルをつけぬこと。また、何でも「性」に結びつければ視聴率が上がるなどと軽卒に考えぬこと。

二、お笑い番組に、下品な声の「笑い屋」を動員するとか、かねて用意のテープで怒濤のごとき大笑声を聞かせるようなことはおやめください。

三、悲しいニュースのあと、いきなり「明るく楽しい」CM。どうにかなりませんか。

四、スポンサー、上役など「強大な力を持つシロウト」に泣かされる現場が多いと聞きます。その上、仕事に慣れると配転。これではいい職人は育ちません。

次にラジオへのお願。

言語不明瞭、ボキャブラリー貧困にしてただ騒々しいだけの若者

各局独特のものを
関根文之助
新聞の放送番組版を横に見ると、同じ時間と同じような番組が、あちこちに見られる。ひどいになると、表も裏も、まったく同じ傾向の番組だ。こんなにたくさん局があるのだから、どうしても、その局でなければ、聴取、視聴できないという独特のものが、組まれてほしいものだ。また、娯楽と教養とのドッキングなども、これからは、大いに考えてよいことではないかと思っている。



組版を横に見ると、同じ時間と同じような番組が、あちこちに見られる。

似たものばやりは企画の貧困

迫間健

時代劇不振だそう。何故でしょうか?

「銭形平次」が当れば「それ、捕物帖」。「水戸黄門」が当れば「お江戸の御殿」。「お徳蔵」が当れば「いざ、お徳蔵」の「と、只々二尾、三尾の柳の下の泥鰌をねらう」企

画の貧困「ぶりにも一半の責がおりそうですが、如何でしょう...?」。「おしん」に明け、「おしん」に暮れた今年でした。新聞によると、嫁いびり役のタレントが佐賀に出向いて皆さんに謝った、イヤ謝まらされた由。NHKもだんだん、イヤますます訳のわからん事をやるようになって来ましたナ。

闇に光放たれるときめきの「空」をこそ

津川泉

観たくもないテレビは消せば、放送はおもしろくなります。聴きたくもないラジオは消せば放送はおもしろくなります。送る(創る)側のたれ流しと受ける側のつけっ放し— これでおもしろくなるわけがありません。

放送は「送りっ放し」のことでなく「オン・エア」だと思いません。消える宿命の「空」ではなく「空」が煌めく音を発し、闇に光が放たれる— あのとときめきの「空」をこそ—。その不思議とワクワクする初心を忘れたくないものです。

「放送をおもしろくするために」放送局の人間がやっている愚行のひとつに新聞ラ・テ欄のタイトルがあるとします。その無神経なオンパレード。中味は観る前から想像がついてしまいませんか? 結局、おもしろくしようという

「おしん人気」とは一体何だったのでしょうか? いい加減、あんなものから脱け出さなければテレビはおもしろくならないと思うのですが.....

愚痴を云うのはやめましょう。「愚痴はよそうよ、お富さん」と春日八郎もとくに歌っているではありませんか。幾ら云ったと

思いがおもしろさにつながるのではなく、あたりまえの仕事がおもしろければそれでよいのでは。

イヤ、イヤ、イヤ

渡辺利弥

徹底して、見る立場から「だからテレビはイヤ」の発言をします。一つ当った番組があると、すぐ右へ習えするのが「イヤ」。

楽屋バナンを平気で視せる無神経さが「イヤ」(ワイドやショウ番組によく見られますが、そんなにやりたきゃ、得意のスペースで曝しやいいでしょ。でも、楽屋で受けるものは表から見ると面白くもなんともないんです)

世間のリーダー面して、エラそいなことを喋る「イヤ」。(世間さま、そんなにバカじゃありませんか) お笑いタレントが番組の中で吹き出す「イヤ」(そんなタレント

て稿料をあげてくれるわけがなし、仕事をくれるわけがなし、みっともないだけの話。それを承知のわが道だ。たゞではありませんか。酔余のクダならともかく、活字にするのはやめましょう。

作家リレーのド

松井稔

今迄にも、無かったことではないが、数人の作家に、一篇ずつのシナリオを連作して貰うのだ。先ず、最初の作家が、自由な発想で自由に人物を登場させ、ストーリーを転回、発展させて、未完のまま、次の作家に渡す。

次の作家は、第一のシナリオの人物を動かしながら、必要な新しい人物を登場させ、或いは不必要な人物を消してしまおう(殺してしま

き出す「イヤ」(そんなタレント

FILM VIDEO AUDIO SERVICE COSMO-SPACE 株式会社 479-3631



そして、又、未完のまま、第三の作家に引継いで貰う。斯うして、幾人かの作家に依って、ワン・クルールのストーリーを完成させるのだ。次々と変わる作家の個性に依って、人物の性格まで変わる(真面目そうに思われた人物が、実は猫かぶりだったり)こともあるだろうし、意外なストーリーの発展があるのではないだろうか。特にサスペンス・ドラマなど面白いと思うがどうだろう。

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

負になって、いつか、四十年代。流れに流されずに脚本を創作する愉しみを知らることが出来て、五十路を過ぎてからはむしろルンルン調で翔んだ楽しみ方を味わいつつ脚本を書く面白さに埋没して書き続けています。脚本の道を選んだのは正解だったな、というのが正直な心境。書きたいこと、やりたいことが雲霞のように眼の前に立ち塞がっている。たった一本の鉛筆と消ゴムと原

今でも放送は、テレビを見ててもオモシロヤオモシロヤ。暴言多謝。たのしいドラマを

◎テロップの誤字。「植林」を「殖林」、「訪問」を「訪問」など一方、うまくしゃべろうとするからおかしい表現。「誤録集」をつくれれば一冊の本になる。
◎中国残留孤児が涙ながらに語る飢餓の状況のシーン。つづくCMでは豊富な食品紹介。
◎ワイド番組でチョイと紹介。三十分番組にしても立派なものになるものあり。
◎テレビが「親戚」の新聞のコラム。しみじみとテレビで見たものはテレビで見せろ。
◎破壊、手口示唆、殺しなど、若者をダメにするものは、もう再考の時を過ぎていく。
◎田舎でつけっぱなしのテレビを横目で見ていた小学生の子「まだ下らんことやってるヨ」とまあ、

誰かが見ててもオモシロヤオモシロヤ。暴言多謝。たのしいドラマを

誰かが見ててもオモシロヤオモシロヤ。暴言多謝。たのしいドラマを

誰かが見ててもオモシロヤオモシロヤ。暴言多謝。たのしいドラマを

活動とは全く関係のないところの制約がありすぎて、作家のオリジナリティが発揮できないところから原因がある。本来は、作家の内部から醸酵してくるモノが結晶化されて、放送作品となっていくべき姿が、全く逆の順序で制作されているのが現状である。

CMの方が面白い? 本庄 一郎

放送のライターとしての意識は生き続けている。

放送に係る連中は、常に、おもしろくするための努力を連日連夜重ねてきたのではないか、それなのに新年早々、更に、放送をおもしろくするために……どんなことがあるのだろうか、再び、筆は止まった……



テレビドラマが面白くないのはスポンサー、時間枠、視聴率といった、創作

放送のライターとしての意識は生き続けている。

放送に係る連中は、常に、おもしろくするための努力を連日連夜重ねてきたのではないか、それなのに新年早々、更に、放送をおもしろくするために……どんなことがあるのだろうか、再び、筆は止まった……

作家のオリジナリティ発揮するには 大石 隆一

私たち放送作家は二つの組織を持っています。著作権擁護と福利厚生をはかる協同組合日本放送作家組合と文化団体の社団法人日本放送作家協会です。組合の『放送作家ニュース』(協会共同発行)と協会の『放送作家情報』は、それぞれの広報委員会

放送に係る連中は、常に、おもしろくするための努力を連日連夜重ねてきたのではないか、それなのに新年早々、更に、放送をおもしろくするために……どんなことがあるのだろうか、再び、筆は止まった……

放送に係る連中は、常に、おもしろくするための努力を連日連夜重ねてきたのではないか、それなのに新年早々、更に、放送をおもしろくするために……どんなことがあるのだろうか、再び、筆は止まった……

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

今年はどうなるだろう、ではなく、どんな年になるだろう、というような考え方で新年を迎えるようになったのは、いつ頃だろうか。二十代三十代のドラマ創作に自信が持てにくくせみやみくもに鼻っ柱だけ強くて唯我独尊の脚本を書き綴っているうちに、創作のきびしさが漸く理解出来るようになって、一作一作の創造が自分の歴史を創っているのだという自

編集企画募集! 読者の共感をよぶ廣濟堂の本 廣濟堂出版 東京 都港区芝2-23-13 TEL. 03 (453) 1201

貴金属・宝飾品 時計・各種記念品 株式会社 美宝 東京都中央区八丁堀4丁目8番8号 新木津ビル1階 電話 03(553)3571(代)

放送作家のメッセージ

アンケートにご協力ありがとうございました。寄せられた55通の中から一部を掲載いたします。

▼作家協会員は同志的な優しさや厳しさをもって相互に作品批評をしあうエネルギーを持たねば、テレビ・ラジオ・ドラマの地盤沈下はすすむ。自浄能力の必要なのは政界のみならず。(熊谷昭吾)
▼親睦的な紙面づくり、大変結構しかし、そろそろハードな論議の花も咲かせては。(羽柴秀彦)
▼テーマ(例えば監督と作家の領域について)をもった討論の場を

▼毎回苦労さまで。仕事に直結すると良いですが、反面、しないほうが楽しい気もします。(高桐唯詩)
▼増刊号というカタチで、作家とプロデューサー・ディレクターたちの懇談会を計画していただけないか? 放送作家がお互いの情報交換の場も是非欲しいけど。(大西信行)
▼近況報告はもうそろそろやめにしましょう。日本は企画が金にならない後進国です。この情報を有料にし、企画オークション誌としては如何。(尾中洋一)
▼諸兄の活躍ぶりに感動を覚えま

▼やっていますね...会う人毎にそう言われます。「放送作家情報」見て...そう答えてくれます。目を通して下さっているかたがそれだけ大勢いるということは嬉しい。それだけに充実したものでなければ...今のスタイルを大切に大きな変化は求めません。派手にならない方がいいのですから。(石森史郎)
▼放送局の若い現場の声をもっと聞かせてほしい。アンケート形式でけっこうだから。(高梨久)
▼情報を受け取った側のリアクションを、なお一層明確にほしいのです。(辻真先)
▼今のままで面白いのではないでしょう。各人自由という形で回を重ねているうちに、いろいろな流行が盛衰して、第一号と第三十号がかなり結果として違ったものになって、それでよろしいのでは

諸氏の活躍ぶりに感動 プロデューサーと懇談会を

(安倍徹郎)

▼やっていますね...会う人毎にそう

へ戻って筆を執り始めて早四年目を迎える訳だが、どうもローカル文化と言うのは馴合い風で一寸も刺激がなく、芸術とはほど遠い金のためだけ筆を執っている様な淋然とした思いに常に取り憑かれていて、日々に創作への意欲が失せて行く様で、このところ、このまま線香花火で終わってしまうのではな

いかと言った危惧感に席捲されて、今にも蹂躪されそうな気配になっている。そして、その後から、放送作家に芸術は無用のものなのかも知れないと言った半ば諦観的な思いが追いかけて来ている。しかし、ローカル文化を盛り上げて行くのはボク達放送作家であ

り、それ故の放送作家であるのだから、腐らずに求められた仕事は消化していこうと、新しい年を迎えて、自分に言い聞かせている。只、自分なりに持っている芸術感を謳歌させるには今のところ芝居しかなく、それ故に今年は芝居に打ち込む心算である。是非スポットを当てて頂きたい。

たといえば、「花王名人劇場」を推したいと思うが、「五目メンダよ」と一蹴をされそうだから、「沢田隆治」で押してみる。「笑っていいとも」の場合なら、番組としては甘いでは、「タモリ」にして

合、いわゆる小説家と言われる作家達とは違った形で番組に付合うことが少なくない。私の経験を言え、直接間接に制作にタッチす

大阪から四日市(三重県)の実家

ことだが、私の専門分野の「演芸番組」は、どうも片隅に追いやられてしまう。委員の諸先生が、ドラマ、ドキュメントといった、いわゆる「テレビの本道」を攻める人が多いため、やむを得ないことかもしれないが、どうにも弱いのである。

私の分野の委員の方にも、同じ思いはあるのかもしれない。きびしいチェックが行われるから、結局、いい番組と人が勝つ。原作提供と制作協力

更には原作書名と同時に出版社名は発表させないでよいのかどうかなどについて、同じ経験をしている方と意見交換をしてみたい。



いい番組と人が勝つ
小島貞二

毎年の、TVガイド誌の「テレビ大賞」の選考委員をやっている。いつも思う

その番組が一〇〇%自分の著作物のみを原作とした場合は、まず問題は生じない。しかし五〇%とか七〇%とかで、同時に別人の著作をも番組が利用した場合、その双方の原作書名を番組で発表しな

も、並居るドラマの主役たちにくらべると軽い。そこで番組の仕掛人として「横沢彪」を出してみる

わすかな橋頭堡を足がかりに、「お笑い」を認知してもらおうのが、苦勞の一つとなる。

自分を知ろうとする女の人が好きです。いろいろ苦心して自分という者を知り、その自分、自分じしんを生きたる女の人を書いてみたいと思っています。

新しい年がはじまるというのは、とにかくいいことです。新年、と新鮮に感じたいと思います。個人的にはより少ない余命に向っての出発であるにしても、出発という事実の重味はあります。

今年も、数多くの女たちが、さまざまな希望を抱き、生活し、悩み、立ち直り、等々して、生きていくことと思います。それにしても、世の中に、情報の溢れていること...。いい情報、悪い情報、必要な情報、いらぬ情報...。

情報...こうした洪水の中で、私たちはともすれば自分がいま、世の中のどのような場所か、どのようになんて生きているのかさえ、わからなくなってしまうそうです。自分じしんの舵取りは自分なのに。

映像時代を販売する

日本ビデオ協会の日本テープが全国16ヶ所の事業所より各メーカーのビデオソフト及びビデオテープをお届け致します。
●映画・音楽を見る楽しさ——ビデオソフト
●ドラマを撮る楽しさ——ビデオテープ
制作から販売まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

日本テープ株式会社

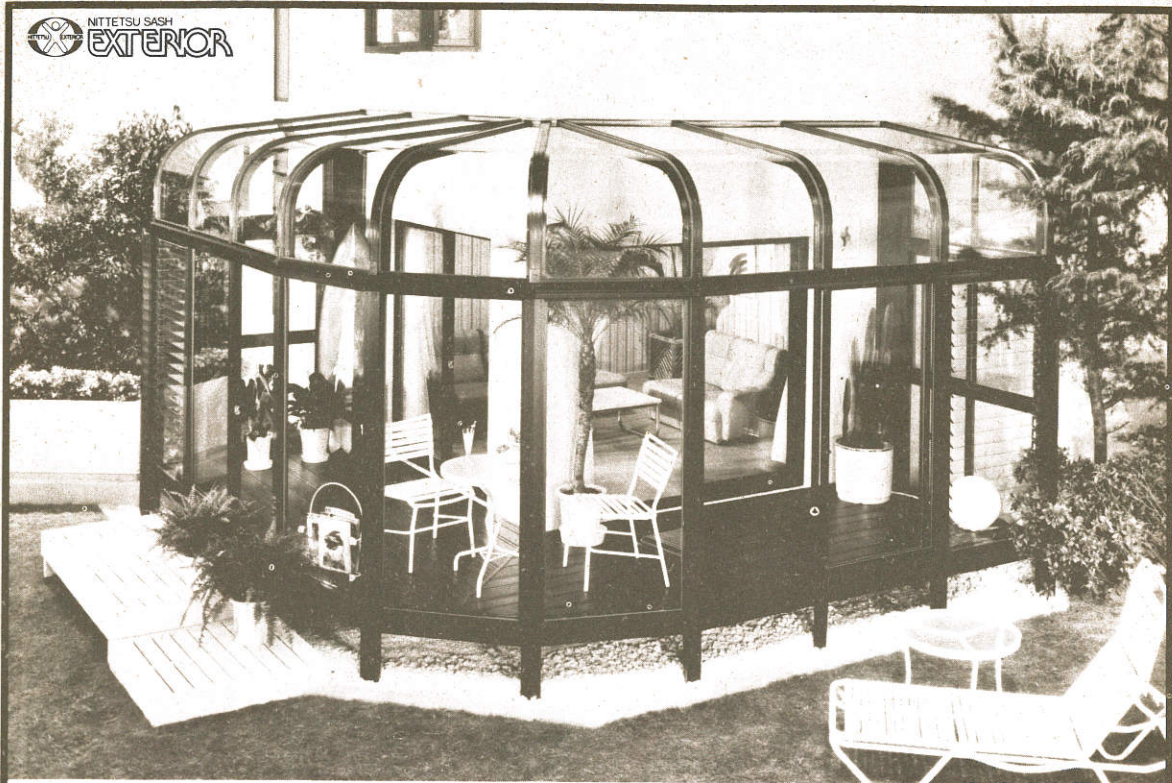
ビデオ事業部 <担当 牧田>
〒105 東京都港区浜松町1-26-4 日本テープビル4階 電話03(434)6151



TOTAL A·V SERVICE

TVKインタープライズ

横浜市中央区山下町69(TVKテレビ内)
〒231 PHONE (045) 641-8218(直)

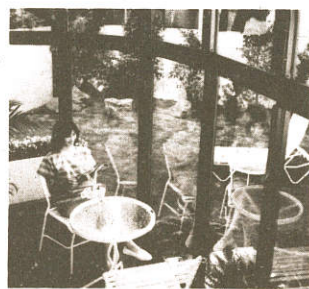


270°のパノラマで春をクイック・キヤッチ

未来感覚のワイドなL空間

Tropical Dreaming サンクリスタルモデル

サンルームの概念を超えた未来感覚です。太陽をいっぱいあびて、子どもたちのプレイルームに、雲の流れに心をさせて、奥さまのホビースペースに。そして、おふたりのナイトリビングには、星空のインテリア。



新時代へ向けたリビング感覚のサンクリスタルに、L型のハリエーションが新登場。明るくサンシャイン・ライフがさらにワイドになりました。

住まいのコーナー部に設置するユニーク設計で、自然のパノラマが270度展開。ファッショナブルなL型デザインと、ワイドな居住性は住まいの理想を越えています。

日鐵サッシ販売株式会社

本社/〒101 東京都千代田区神田錦町1-8 OPビル TEL(03)295-4511

資料請求
放送

4号の反響に嬉しくなって、急に5号もお願いする様な心境に変化しました。(宮田達男)

▼一つでも多くの仕事が具体的にまとまるよう、もっともっと多方向に頒布して如何? そのためには多少の費用は致しかたないと思えます。(安藤日出男)

▼内外ともに好評を以って迎えられるように、同慶至極です。それだけに「ああも、こうも」と。なりがちでしょうが無理は禁物。一歩々々、堅実な発展をこそ一編集各位の御苦勞を謝し健闘を祈ります。(迫間 健)

▼今回の「四〇〇字提言」のような特集、大賛成です。いろいろなテーマで毎回続けて下さい。(小池タミ子)

▼提言欄の新設は、とてもいいこと。近況通信以外に、番組のアイデア提案の場もあったほうが良いと思います。(竹内日出男)

▼来年度もこのままで、生き生きとした紙面づくりをおねがいします。(川崎 洋)

▼こういうものの編集は、さぞ大変であろうと、心から感謝しております。あまりシヤカリキにならず末永くお続け頂きたいと思えます。内容等、いまのままで結構です。(馬場雅夫)

次号は四月発行予定

広報委員会から このほか、いろいろアイデアや提言をいただきました。お寄せいただいたアンケートをまとめて、検討し、実現できるものから誌面づくりに活かしていきたいと思えます。現在は、予算上、二十頁建・三千部発行・季刊が限度です。委員会は年度末をもって任期を終ります。新年度へのバトンタッチを前に、これより予算案づくりにはいります。

●求む/放送作家の皆さんへ

今年も漫画原作の充実にお力を

集英社 角波 攻

ヤングジャンプは'84年初頭に発行部数108万部と週刊青年漫画誌の史上最高記録を達成できました。現在発行されている週刊誌は、約2千5百誌ありますが創刊以来5年間で、日本で第7位の大雑誌に上りました。愛読者と作家の皆様のおかげと大感謝。今年も放送作家の皆様のお力をおかりしてより一層漫画原作と漫画の充実を図りたいと思えます。ヨロシクノ(週刊ヤングジャンプ編集部副編集長・〇三二二〇一六二一九)

△1984年。遅ればせながら、新春のおよろこびを申し上げます。「放送作家情報」も創刊三年目。新年度へバトンタッチの年です。一層の充実と発展のために、皆様のご協力をおねがいします。

日本放送作家協会広報委員会
あけと陽子、大塚汎、奥園守
片山明子、門川美代子、かのう・あらた、駒田博之、篠崎博、林企太子、真木柚子、山本優、毛利恒之

△私たちは「表現の自由」を大事にしたいと思えます。寄せられた原稿は、原則的に、そのまますべて掲載したい考えです。しかし、今回締め切りを大幅に遅れたものなど一部、編集上の都合でやむなく割愛させていただきます。

△「仲介業務」は組合の事業委員会の領域です。協会は法人の性格上、できません。が、「放送作家情報」を機縁に、アンケートや「あてな」などにも見られるように、作家とプロデューサー、ディレクター、編集者との出会いの場懇談の機会をつくってほしいという希望が寄せられています。実現を計りたいと思えます。初の「四千字提言」、ご感想ご意見を早速葉書でもお寄せ下さい。

(本号の責任編集・毛利恒之)

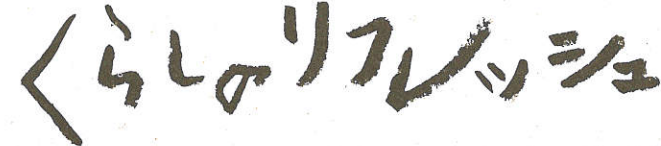
公募ラジオドラマ入選作なし

日本放送作家協会主催「第八回創作ラジオドラマ脚本公募」(文化庁・放送文化基金助成、NHK後援)は、応募作二六一篇について五次にわたる審査の結果、十二月五日、佳作三篇が選ばれた。入選作なし。

佳作一席「恐竜がでた」長谷川洋子(三一歳・イラストレーター・東京)、二席「恋のノンストップ・バス」牧敦史(二三歳・学生・京都)、三席「昨日までは満腹だった」小嶋雄嗣(二四歳・学生・東京)

一席「恐竜がでた」はNHKで三月初放送の予定である。

●青畳、ふすま新しく...1984年 豊・襖工事一式請負



株式会社 平林金蔵商店

東京都指定 宮内庁御用達

東京都大田区南馬込3-6-5 電話771-3013, 776-3351(代)